

言語学博士 服部孝彦教授による特別講演

「帰国生のための英語力保持と伸長」開催のご案内

帰国子女が海外で身につけた英語力は大きな財産です。わが子が海外で苦勞して身につけた英語力を何とか保持させたいというのが帰国子女を持つ親の共通の願いです。ところが帰国子女たちは、せっかく身につけた英語力を、日本に帰国すると環境の変化と時間の経過によってどんどん忘れてしまいます。英語を忘却すると共に英語に対する興味も失ってしまう帰国子女も多くみられます。これは何としても防ぎたいものです。

そこで当財団では、外国語保持教室受講生とその保護者を主な対象に大妻女子大学・同大学院教授の服部孝彦博士による特別講演「帰国生のための英語力保持と伸長」を企画いたしました。第1部では親子で取り組める英語の楽しいゲームの紹介、第2部では英語プレゼンテーションの基礎力を育成します。講演は全2部構成で参加型のワークショップ形式です。

※なお講演での使用言語は全て英語となります。予めご了承ください。

【日程】

2017年11月19日(日)

【会場】

J国際学院内 7階

(大阪市西区立売堀1丁目1番3号)

- ✓ 大阪市営地下鉄四つ橋線・中央線・御堂筋線「本町駅」
- ✓ 21番出口から徒歩2分

【内容】

- 第1部 14:00 ~ 14:50 [開場 13:30~]

Games and Activities for Returnees

~親子で楽しむ英語のゲーム~

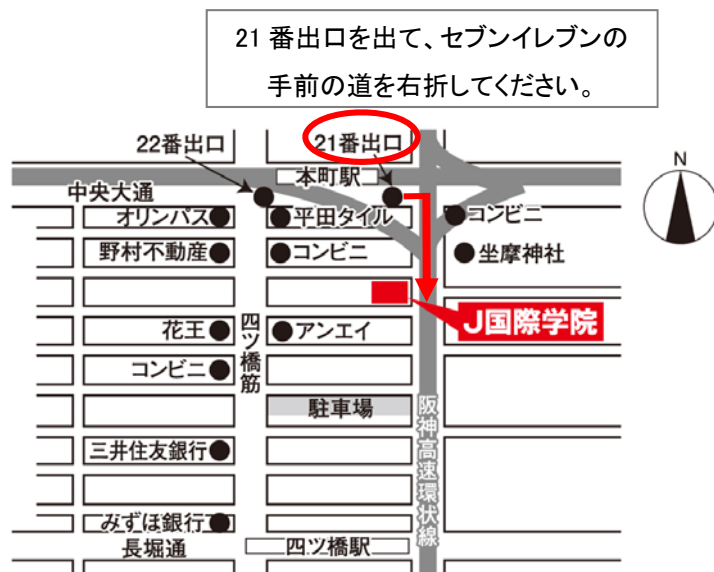
帰国生は英語の忘却がある程度進むと英語学習に対して興味を失いがちです。そのために英語学習では楽しさの追求が必要となります。しかしそれは、あくまでも知的な楽しさの追求でなくてはなりません。第1部では、親子で取り組むことができ、子どもたちが自ら学びたいと思わせるように導くことのできる楽しいゲームを紹介します。

- 第2部 15:00 ~ 15:50

Strategies for Developing Speaking Skills

~英語プレゼンテーション入門~

グローバル化に伴い、日本人が英語を使い数名から大人数までを相手にある程度まとまった話をしなくてはならない機会はますます増えてきます。上手に英語でスピーチができるようになれば、子どもたちは将来、仕事の幅を広げることができます。第2部では、自分の考えや経験を明確に相手に伝え、理解してもらうための練習を行います。



【定員】

各回 先着50名

【受講料】

無料

【募集対象】

- 1)当財団主催の外国語保持教室在籍者および小学一年生以上で、それと同レベルの語学力を持つ帰国子女とその保護者
- 2)企業・団体、学校関係者

【お申し込み方法】

11月14日(火)までに、①～④を明記のうえ、kansai@joes.or.jp までEメールにてお申し込みください。

① 参加者氏名

※参加者全員のお名前をお知らせください。お子様の場合は学年も合わせてお教えてください。

※外国語保持教室の受講生は、在籍クラス名もご記入ください。

② お申し込み回 (第●部)

③ お電話番号

④ Eメールアドレス

ぜひ1部と2部の両方にお越しください。
1部・2部ともにご家族でのご参加がオススメです!



【講師】

服部 孝彦 氏 (外国語保持教室アドバイザー)

大妻女子大学・同大学院教授、早稲田大学講師。

言語学博士(Ph.D.)。米国ケンタッキー州立ムレー大学(MSU)大学院客員教授等を経て現職。海外子女教育振興財団外国語保持教室アドバイザー、ルーツ・インターナショナル英語保持教室カリキュラム・スーパーバイザー、国連英検統括監修官兼外国人面接官指導研修スーパーバイザー、元NHK英語教育番組講師。主な著書に文部科学省検定中学英語教科書『ニューホライズン』(共著、東京書籍)他、著書 155 冊、学会発表論文 154 編、学術誌発表論文 118 編、教育誌執筆記事 485 編。今までの日本及び海外での英語教育、帰国子女教育関係の講演回数は合計 800 回を超える。自らも初等・中等・高等教育を日米両国で受けた元帰国子女で、帰国子女を育てた父親でもある。日本に本拠地を置く現在でも日米間を一年に 10 回以上往復しながら、米国の大学での講義・講演、国際学会での研究発表を精力的にこなす。



※本講演の内容につきましては、財団ホームページ等で紹介する予定です。

その際、参加者の顔が映った画像等を使用することがございます旨、あらかじめご了承ください。

《お問い合わせ・お申し込み先》

公益財団法人 海外子女教育振興財団 関西分室

TEL : 06-6344-4318 FAX : 06-6344-4328

E-mail : kansai@joes.or.jp